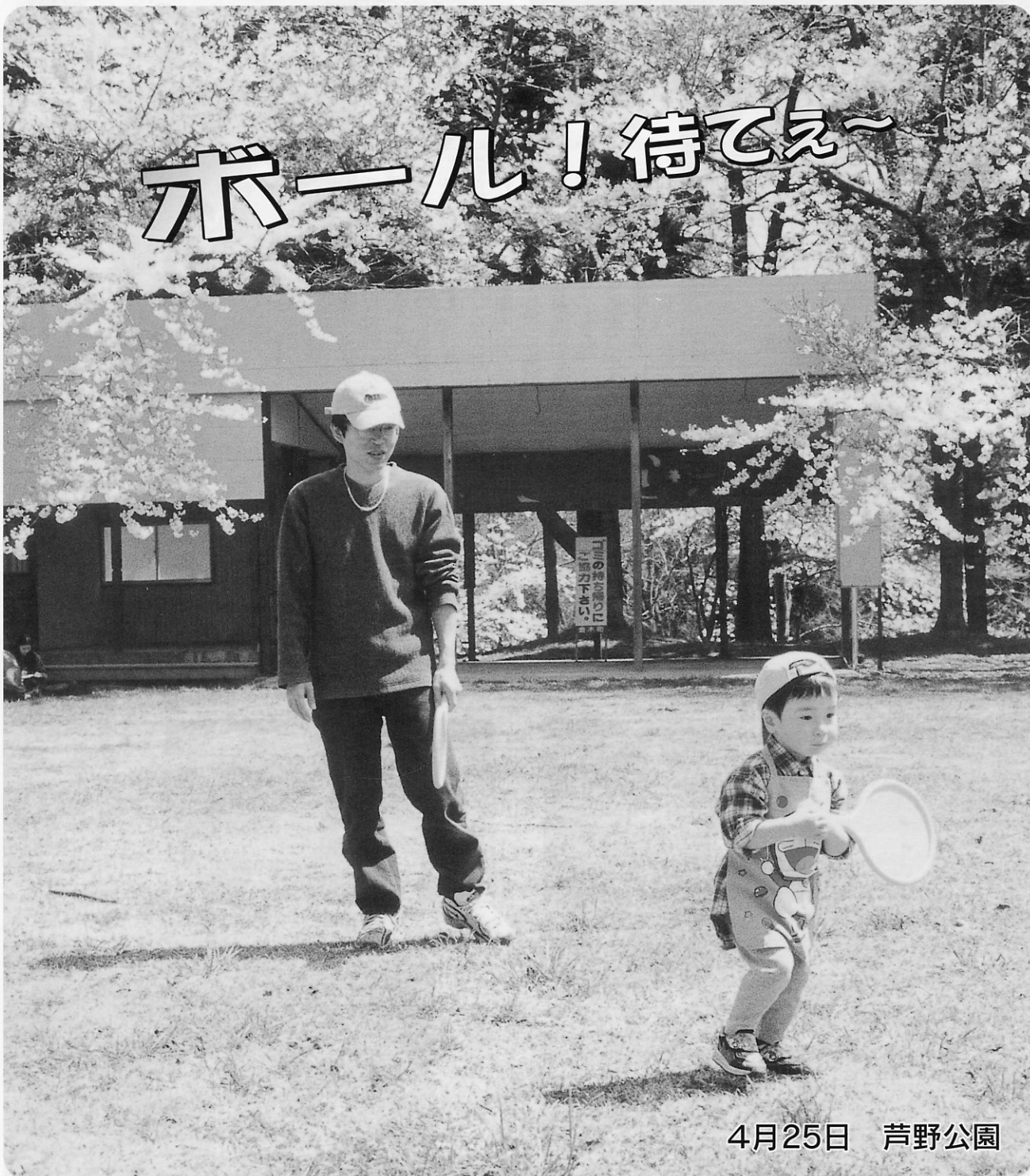


ボール！待てえ～



4月25日 芦野公園

県立芦野公園

花はなくとも…団子!

金木桜まつり



まつりの開幕



出店通りのにぎわい



金木桜まつりが毎年恒例の四月二十九日から五月五日までの一週間、県立芦野公園で開かれ、期間中約十四万人（昨年十五万人）の花見客が県内外から訪れました。

今年は例年になく好天が続いたため、公園内の二千二百本の桜が二十日には満開となり、まつり初日を前にして葉桜となりました。

好天に恵まれた二十九日の開会式で鳴海町長は「桜はあきませんが、良い天候が続くとのことでたくさんの人出が期待できます」とあいさつし、来賓によるテープカットで開幕を祝いました。

比較的好天に恵まれた期間中、湖上ステージでの林あさみ歌謡ショーやカラオケ大会には大勢の人が集まりイベントを盛り上げていました。

公園内では葉桜の下、酒宴の輪がいくつも広がり、まつりを満喫していました。



募金活動・清掃活動ご苦労さまです



湖上ステージでは



大人たちは団子？ 子どもたちは

金木桜まつり協賛
02RAB杯カラオケ選手権金木町
実行委員会 歌のゲスト小笠原愛美 放送日 平成14年5月19日(日) 6:05~



第14回 津軽三味線 全日本金木大会



▲審査員の厳しい目

第十四回津軽三味線全日本金木大会が五月四日、雨のため三味線会館野外ステージから金木小学校体育館に変更して開催されました。全国各地から集った参加者は個人の部百九人、団体十三組百二人で、各部門ごととに別れて日ごろの練習の成果を競い合いました。



▲出番を待つ参加者



仁太坊賞を受賞した黒澤博幸さんは7年通い、やっと貰えましたと話していました。

当日は雨にもかかわらず約千人もの観客が訪れ、会場全体に響きわたる津軽三味線の力強くかつ繊細な音色に拍手と声援を送っていました。九時間にもおよぶ大会で、最高位の仁太坊賞は岩手県滝沢村の黒澤博幸さんが獲得しました。



桜まつり協賛スポーツハイライト

各大会上位入賞者

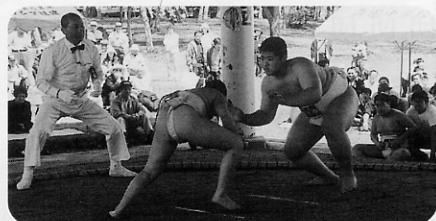
◆4月29日 金中ソフトボール場
第31回西北五中学校選抜ソフトボール大会
●優勝 金木中学校

◆4月29日 町営相撲場
第22回金木桜まつり西北五小中学校相撲大会
●団体：金木小学校2位、金木中学校2位
●個人：小学4年の部2位 白川 康靖(金木小)
小学6年の部1位 野上 怜(金木小)
中学1年の部3位 津島 祐希(金木中)
中学2年の部1位 大橋 聖哉(金木中)

◆4月30日 芦野公園特設会場
第2回西北五グラウンドゴルフ大会
●優勝 沢田 義昭(三軒町)

◆5月4日 金中陸上競技場
第25回芦野陸上競技選手権大会

●小男200M	1位	原田 周(嘉 瀬)		
●小男400MR	3位	金 木 小		
●小男1500M	2位	福土 大志(金 木)	3位	今 涼二(喜良市)
●小男走幅跳	1位	工藤 義宗(金 木)	3位	今 篤(喜良市)
●小女200M	3位	今 あつみ(嘉 瀬)		
●小女400MR	3位	喜良市小		
●小女800M	2位	川嶋 理奈(金 木)	3位	今 あゆみ(嘉 瀬)
●中女1年100M	1位	伊丸岡操希(金木南)		
	2位	小山内亜梨沙(金木南)		
●中女800M	3位	吉田 奈緒(金 木)		
●中女400MR	3位	金 木 南		
●中女走幅跳	3位	須崎 瑞穂(金木南)		



平成14年度

定期連合観閲式



ラッパ隊の演奏にあわせて見事な分列行進を披露する金木町消防団ら



五月三日、金木タウンセンター駐車で金木北部消防団連絡協議会（会長 榑引幸雄）主催による定期連合観閲式が、金木町、中里町、市浦村、小泊村の各消防団員七百四十八人が参加して行われました。式典では、はじめに殉職消防職員、団員に対して参列者一同が黙祷をささげ、つづいて姿勢服装と機械器具の点検、放水演習、模擬演習が披露さ

れました。

この後、各分団員全員による分列行進が行われ、来賓や家族から大きな拍手が送られていきました。

この観閲式で行われた各表彰の受賞者は次のとおり。

（金木町分）

◆青森県知事表彰

▽功労章

団 長 榑引 幸雄

▽永年勤続功労章

副分団長 泉谷 佳司
部 長 今 清治

◆青森県消防協会長表彰

▽優良消防分団

金木町消防団第2分団

▽優良消防分団(現場功労)

金木町消防団第3分団

▽有功章

団 長 榑引 幸雄

▽現場功労章

団 員 松橋 実

▽勤功章

分 団 長 泉谷 雅彦
分 団 長 徳田 重夫

▽二十五年勤続章

副分団長 泉谷 佳司
部 長 今 清治

▽二十年勤続章

部 長 浅利 清美
班 長 小野 拓男

▽十五年勤続章

班 長 大橋 徹
班 長 中谷 徳善
班 長 工藤 光明
班 長 田中 正
団 員 原田 忍
団 員 高橋 信久

▽十年勤続章

班 長 白川 登喜雄
班 長 中谷 時正
団 員 菅原 松男
団 員 津島 尚文
団 員 福士 賢二

団 員 須崎 暁
団 員 米塚 仁
団 員 原田 英次
団 員 今 満昭

◆青森県消防協会

北五支部長表彰

◆青森県消防協会

分 団 長 伊丸 秀昭
班 長 浅田 正一
団 員 竹内 義継
団 員 秋元 英治
団 員 黒川 慶治

◆西北五消防団

副分団長 岩村 治
班 長 白川 鉄也
団 員 山中 朝幸

◆金木北部消防団

連絡協議会長表彰

◆金木北部消防団

連絡協議会長表彰

団 員 福山 和人
団 員 工藤 輝光
団 員 對馬 充洋
団 員 土岐 進栄
団 員 阿部 一智
団 員 古川 秀忠



▶功績が認められる表彰

議会 ニュース

＝「3月定例会」＝

3月5日からの一般質問で秋元洋子、中谷秀八、桑田茂議員が登壇し、南新町集会場計画、町民所得向上対策、駅前開発等について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

秋元洋子議員

「南新町集会場計画はどうなっているのか。」「町村合併に対する考え方を聞きたい。」「金木再開発の計画とビジョンを聞きたい。」「町営住宅建替え計画の進行状況はどうなっているのか。」「学校の週休二日制へどう対応するのか。」「過疎債の運用状況を知りたい。」「社協ヘルパーとしてあるまじき態度をとっている人がいる。どうなのか。」「多動症生徒への予算が出なくなったのはなぜか」

鳴海町長

「集会所については、駅舎新築の関連からこの二階に多目的な集会所を設置して対応していきたい考えであるが、町内会で集会所が必要であれば陳情してもらい常任委員会等で検討していきたい。」「昨年、今年と地方交付税が減額され町村合併は避けて通れないことから、金木以北の二町二村で四月一日をめどに協議会を発足させ、年内に合併の方向を決めてよりよい的確な合併を進めていきたい。」「駅前開発は、斜陽館とマッチする駅舎への立替え、中学校統合も視野に入れた金高から駅前を通り金木川にぬける道路の拡幅整備を行う開発を考えている。駅舎新築については確定ではないが原子燃料サイ

クル事業推進特別対策事業を活用して実施したい。」「ヘルパーについてはですが、社協会長をはじめ職員の方にも十分気をつけるよう通告します。」「

角田助役

「町営住宅の建替え計画樹立のために調査を専門会社に依頼し現在できつつあり、これをもとに策定委員会、関係課と関係機関の職員で検討を加え年度内には計画を決定したい。計画の原案から第一期の建替えは造成が終了した次の年度から四、五年で古い順に八十三戸を予定している。」「

教育次長

「完全学校週五日制の対応は、土曜日に中央公民館で冠婚葬祭がないときは図書館・ロビー・ホールを開放する。中央公民館サークルへの参加を呼びかける。子ども触れ合い教室を開催して子供会やPTAを中心とした団体に活用してもらおう。農業者トレーニングセンター開館時間を午前九時から午後五時までとする。」「

中谷教育長

「多動症の生徒には支援員という形で講師が専門に付き添って教育していましたが、今年からこの支援員という制度がなくなり別な形で従来どおり対応していきます。」「

企画観光課長

「駅舎建替えについて、鉄道業として使われる部分に原子燃料サイクル事業特別対策交付金を充て、集会的なスペースなどの部分については過疎債という形で想定している。建物の構造やスペース的なものについては地域住民、津軽鉄道、議会と相談して十四年度中に計画を樹立し十五年度実施に向けて動きたい。」「

総務課長

「過疎債の運用状況は、平成九年度から十一年度まで三年間、平成十二年度から十四年度まで三年間という形で二期にわたり十七事業を行って見込額の約八十%の十四億三千万円余りが過疎債です。」「

中谷秀八議員

「町民所得は依然として低いがその向上対策はあるのか。」「平成十一年度から現在まで農業の複合経営に力を入れた点を聞きたい。」「斜陽館を中心とした観光客の在宅型対策をどのようにとらえたのか。」「今後の米作りについて行政としての役割をどのように考えているのか。」「駅舎新築でテナントやホテルを併設できないか。駅舎新築と駅前開発は同時に行うのか。」「特産品の開発と観光農園の増進の考えはないのか。」「団地移転先として川倉、湯の川地区の考えはないのか。」「合併特

例法の期限内実施スケジュールを聞きたい。」「

鳴海町長

「所得向上対策として、コンバインとパイプハウスなどの導入、転作奨励交付金を交付している。」「商店街での民宿経営ということで滞在型を考えたが実現できない現状である。」「駅舎に各施設の併設可能かどうか再度確認して検討する。」「特産品開発は行政だけに頼らず自分でも勉強してやってほしい。」「移転先は委員会などに諮りながら選定していきたい。」「

総務課長

「合併スケジュールは、三月二十五日に協定書の締結式を行い、四月八日に第一回協議会開催し具体的な事業計画等を決定。将来ビジョンなどを遅くとも十二月議会までに報告する。検討段階では来年一月ごろに新市町村の建設計画を策定。十六年に建設計画が決定し合併協定書とか議会の議決となり、遅くとも十六年十二月の県議会の議決。十七年の二月に法務大臣へ書類提出し告示が出てはじめて三月に合併できる見通しである。」「

農林課長

「農業について、生産コスト削減を指導し、複合経営を促進するためにパイプハウス